

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立豊崎小

学校

児童数

30

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	13.89	21.05	33.74	38.84	45.89	10.06	159.47	24.11	51.67
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	12.00	18.50	42.63	40.13	42.63	9.64	160.00	15.38	57.13
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

今年度は、体力合計点において男女ともに大阪市の平均を上回る結果となった。特に女子においては全国平均をも大きく上回る結果となった。種目別においては、男子では握力・50M走、女子では握力以外の種目において大阪市平均を上回る数値となった。ここ数年大阪市平均を下回る結果が続いていたが、今年度の結果においては、本校の体力づくりの成果が数値となって表れた。

男女ともに課題がみられた握力については、不慣れた運動であるとともに、日常生活の中で培われる力でもあると感じる。

「運動やスポーツをすることは好きですか」との質問には大阪市、全国平均が男子7割強、女子5割強であるのに対して、本校では男子は80%、女子が66.7%と運動に対する意欲が大変高いことが結果として表れた。また「体育の時間は楽しいですか」の質問に対しては男子75%、女子では88.9%もの児童が楽しいと回答しており、楽しくないと答えた児童は男女とも0%であることも特徴である。

一週間の総運動時間においては運動時間が60分未満の児童の割合が全国、大阪市平均より高くなっている。この傾向はここ数年続いており、運動を全くしない児童が年々増えてきていると推察される。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校は運動場の敷地面積の関係で50m走やソフトボール投げを校内で測定できない学校であり、運動やスポーツを行う環境面では決して良いとは言えない。だが、児童らの運動やスポーツに対する意欲が非常に高いことや、体育の授業を楽しんで取り組んでいること、また校内外を問わず運動やスポーツに親しんでいることについては、学校としては今後も後押しをしていきたい。特にメダリストやプロのスポーツ選手を招聘し、交流や指導を通して、学び動く意欲を喚起する機会を大事にしていきたい。

技能や運動力の結果においては、個人差や住環境の影響などに左右されがちであるが、運動に対する意欲を高める活動については、大阪市の「夢授業」をはじめ、今後も継続して取り組んでいきたい。また運動することを楽しみ、好む本校児童の特徴は、運動能力の数値以上に今後ののびしろになっていくと考えられる。これからの長寿社会を生きていく児童らの健康の基盤となる「運動に対する意欲」を今後も重視し、大切にしていきたい。